

校長室

だより



R7.9.9 Vol.18

校内絵を描く会

先週の金曜日、校内絵を描く会を実施しました。運動会を春に行ったことで、少しゆとりのある二期がスタートできているように思います。

子供たちは、それぞれの題材で一生懸命、筆をすべらせていました。私は子供の頃、絵が苦手で図工の時間が嫌いだったのですが、自由な表現の場や時間と捉えたと、嫌いになることもなかったのかなと思います。どんな

指導をしていくのか？

大事ですね。芸術とは、

本来、楽しむものです。

それに親しむ時間にして

やりたいですね。



たが

「たがが外れる」という言葉があります。『たが』とは酒樽や桶を締める金属の輪っかのことです。それが外れると樽や桶は、ばらばらになります。そこから転じて、行動に歯止めがきかなくなるという意味で使われる言葉ですね。

校長になると、学校内では注意や指導はほとんどされません。（当たり前と言えば当たり前です。）その分、常に自戒しておかなければならないのですが、時々、お調子者の私は、たがが外れそうになる時があります。そんな時は必ず「校長先生…」と教頭から静かな一声が飛んできます。「あ…はい…」そして何事もなく今日も無事、過ぎていきます。

チム真穴のたがはとても強力です。感謝（笑）。

四方山話真穴 ver2. 其の十八(陸上練習の中で)

二期が始まり、一週目が終わりましたね。子供たちの生活リズムは学校で過ごすリズムに戻ってきているでしょうか？…という私たち教師も勤務しているとはいえ、夏休みは子供がいない中での仕事なので、やはり学期中とはリズムが変わってきます。それが続くとうなるか…私の場合ですが、普段、普通に口から出てきている言葉が、「あれ？あれよ！あれ！どれだよ？（一人突っ込み）」とスムーズに口から出なくなります。（休みボケ？もしかして老化？？泣）身体の筋肉と同じで使わなければ脳の動きや回転が悪くなるんだらうなあと身も持って実感しています。一週間でだいぶ取り戻してきましたが…（笑）

さてすっかり前置きが長くなりましたが、その脳にまつわる話をひとつ。子供たち、陸上運動記録会に向けての練習をがんばっています。その様子を見ている中で、気になることが…。口癖になっている子供もいるのではないのでしょうか。「これに挑戦してみよう！」そう指示を出すと、「あ！無理！」「絶対できん！」決まり文句のように子供から返ってきます。できなかった時の言い訳や照れ隠しもあるんでしょうね。気持ちはよくわかるのですが、そのマイナスイメージの言葉を発した途端、脳はリミッターをかけちゃうんだそうです。マイナスイメージの自己暗示ってどこでしようか。「やればできる！」という言葉がありますが、これは嘘だと私は思っています。（笑）やってもできないことは、無数にあります。（あ！私の場合ですよ。）でも「やってみないとわからない！」これは真理ですよ。やる前から脳にマイナスの自己暗示をかけちゃうのはとてももったいないと思いませんか？

「できるできないではありません。やるかやらないかです。」折に触れ、私が子供たちに投げかけている言葉です。私自身も迷ったときは、この言葉を頭に浮かべ、まず動いてみることを意識しています。還暦手前のじいじがやっているんです。前途洋々の子供たちがやれないわけありません。まずはやってみること！これからも子供たちに投げかけていきたいです！

----- 切り取り線 -----

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思ひます。